

地方公共団体名	北海道深川市
所属部局	市民福祉部市民生活課環境衛生係
地域の抱える環境・脱炭素に関する課題	本市は、北海道のほぼ中央に位置し、農業を基幹産業とし、特に「道内屈指の米どころ」として知られる北の食糧供給基地です。また、冬期間は降雪量も多く特別豪雪地帯として指定されていることもあり、除排雪における技術力は高く、市民満足度が高いサービスとなっています。 本市では、令和3年にゼロカーボンシティを宣言して以来、脱炭素に向けた具体的な取り組みの着手には至っておらず、「何から始めるべきか」、「どのような指針を持つべきか」が明確でないことが最大の課題です。 一方で、人口減少と高齢化が進行し、財政的な余力も限られているため、「小さく始めて、大きく育てる」持続可能な事業スキームの構築が不可欠です。地域の実情に即した、現実的かつ着実なステップを踏むための伴走支援を強く求めています。
環境・脱炭素と同時解決したい地域課題	ごみの減量は、本市における喫緊の課題です。将来的な収集事業者の担い手不足、最終処分場の残余容量の逼迫、ごみ処理施設の老朽化など、複合的な問題が顕在化しています。 ごみの減量により、収集運搬により発生するCO₂や、ごみ処分により発生するCO₂の削減に寄与するなど脱炭素化とも親和性があるものと認識しています。 また、冬季には豪雪地域としての特性から、除排雪に伴うエネルギー消費やCO₂排出も課題となっています。こうした地域特性を踏まえ、環境負荷の低減と地域課題の同時解決を目指します。
地域のありたい未来	「ごみ排出量限りなくゼロのまち」を目指し、地域資源を循環させる持続可能な暮らしの実現を目指します。
マッチングを望む分野	高 1 資源循環 優 2 バイオガス 先 3 カーボンオフセット・J-クレジット 度 4 デジタル ↓ 低 5 交通分野の脱炭素（EV等） その他 : _____
マッチング企業と取り組みたい事業	本市では、脱炭素と地域課題の同時解決を目指し、以下のような事業に取り組みたいと考えています。 まずは、資源循環の促進を最重要課題と位置づけ、小型家電や古着の無料回収、コンポストを活用した生ごみの減量など、市民の生活に密着した取り組みを通じて、ごみの発生抑制とCO₂排出削減を図ります。次に、農業副産物のエネルギー化に取り組みます。米を中心とした農業資源が豊富な本市では、バイオガスなどの再生可能エネルギーの活用によって、地域内でのエネルギー循環を実現したいと考えています。さらに、カーボンオフセットやJ-クレジットの活用を通じて、地域の環境価値を可視化し、持続可能な経済活動へとつなげる仕組みづくりを模索しています。 最後に、デジタル技術の活用によって、ごみ排出量の見える化や住民の行動変容を促す仕組みを導入し、地域全体での意識改革を進めていきたいと考えています。